

説明医師

説明看護師(外来)

看護師(病棟)

様へ

月日	月 日	月 日	月 日
経過	入院日	当日(術前)	当日(術後)
目標	○心身ともに安定した状態で手術を受けることができる		○循環動態が安定経過する ○麻酔合併症(悪心、嘔吐、頭痛など)の出現がない
検査	・身長、体重測定 ・採血		・採血 ・レントゲン撮影
食事	夕食後絶食、21時以後絶飲食 経口補水液は、麻酔科の指示で服用		絶飲食
	朝食は 自宅で		
処置・観察	リストバンドを装着 します(退院日まで) ・弾性ストッキングのサイズ を測定し、お渡しします 手術部位にマーキング を行います	点滴の針を留置します 朝 浣腸します 時間になれば看護師が 手術室にご案内します	手術後以下の挿入物、 装着物があります ・酸素マスク → 取り外します ・心電図モニター → ・点滴の管 → ・背中のチューブ(鎮痛剤) ・創部の管(ドレーン) → ・尿道カテーテル → ・フットポンプ(血栓予防) → 取り外します 創部を観察、処置を 行います
	状況に合わせて、体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測ります(血圧自己測定も実施予定です)		
点滴・内服	持参薬、お薬手帳を看 護師にお渡しください 眠前下剤を服用します	手術室で点滴を開始 します (手術が午後の場合は、 病棟で点滴を開始します)	以下の点滴を行います ・持続点滴 ・抗菌薬
	シャワー浴できます 制限はありません	以下の手術準備をします ・シャワー浴 ・手術着に着替え ・弾性ストッキング装着 ・入れ歯、アクセサリ、時計等の取り外し	午前中 全身清拭し、手術着か らパジャマに着替え ます 付き添いのもと、下垂 座位リハビリを開始 します
説明	医師・麻酔科医より説明(外来又は入院時) ・治療計画について ・手術について ・麻酔について		医師より説明 ・手術結果について
	病棟・手術室・集中治療室看護師より説明 ・入院生活について(パスシートを使用) ・手術について ・集中治療室について		看護師より説明 ・術後の注意点について ・安静について ・下肢運動について ・尿道カテーテルの必要性 について(尿意、疼痛が強 い場合はナースコール)
	薬剤師より説明 ・持参薬確認 ・使用薬剤について		看護師より説明 ・水分摂取について(1日 1.5ℓを目安に摂取)

* 入院に際して、この用紙を必ずお持ちください

* 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。

* この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともあります。

月日	月 日	月 日～ 月 日	月 日	月 日	
経過	術後 2 日目	術後 3～6 日目	術後 7 日目	術後 8 日目 (退院日)	
目標	※○術後合併症（出血、尿漏れ、創部感染、腎機能障害、イレウス）を起こさない ○疼痛コントロールが図れ、医師の許可範囲内でリハビリが進められる ○創部の管が抜去できる ○尿道カテーテルが抜去できる ○創部感染徴候がなく抜鉤できる ○退院後の療養上の注意点について理解できる				
検査	必要時以下の検査を行います ・採血 ・レントゲン撮影等				
食事	水分は 1 日 1.5 L を目安に摂取 朝より常食			退院日は朝食のみ	
処置・観察	以下の挿入物、装着物があります ・心電図モニター → 術後 2 日程度で取り外します ・点滴の管 → 点滴終了後抜去します ・背中チューブ（鎮痛剤）→ 術後 2～3 日で抜去します ・創部の管（ドレーン）→ 術後 2～3 日で抜去します ・尿道カテーテル → 術後 2 日程度で医師判断のもと抜去します 創部を観察、処置を行います			退院時にリストバンドを外します	
	状況に合わせて、体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測ります（血圧自己測定も実施予定です）				
点滴・内服	朝 血栓予防薬皮下注射を します				
	状況に合わせて、看護師が全身 清拭、洗髪、足浴します 尿道カテーテル抜去後は、 トイレで排尿できます 尿量を自己測定します → 術後 5 日目まで		創部の治癒状況に合わせてシャワー浴を再開します （週 3 回、病棟毎日が異なります）		
行動・リハビリ	付き添いのもと、歩行リハビリを開始します			朝食後退院です	
説明	看護師より説明 ・尿量自己測定と記載方法 について			医師より説明 ・退院後の治療計画、療養 上の留意点について 看護師より説明 ・退院後の療養生活について （退院療養計画書をお渡し します）	

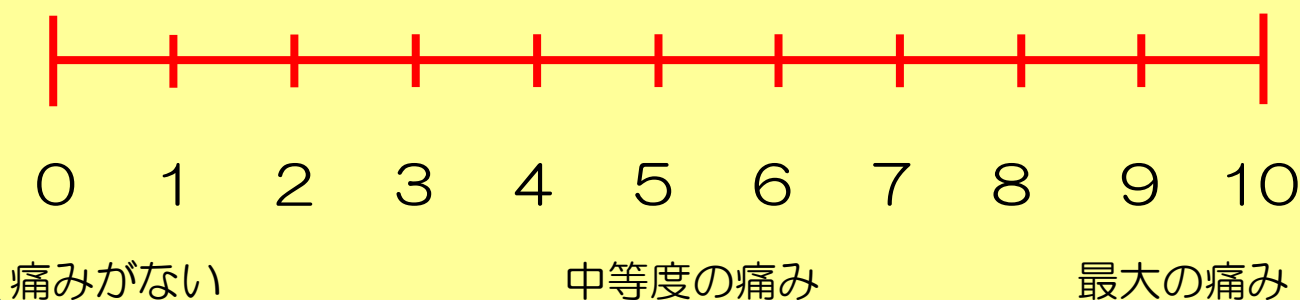
手術後の傷の痛みを教えてください

講習を受けた麻酔科医・看護師・薬剤師・臨床工学士で構成された術後疼痛管理チーム（APS）チームが、患者さんの傷の痛みに対して、手術前から計画を立て、傷の痛みが軽減するよう取り組んでまいります。

実際の傷の痛みに対して、NRS(Numerical Rating Scale)：痛みの評価スケールを使用します。0 から 10 までの 11 段階です。

 手術後、どの程度の痛みかを数値で教えてください

10 を最大の痛みとした場合
今の痛みはどのあたりですか



APS チームがサポートします。

よろしくお願いします。

